

「地域連携における取組」 綾川町一貫性教育

学校名 **香川県**
綾川町立綾南中学校
全校生徒数553名
(男子265名 女子288名)

実践内容

実施目的

- ①町内で新体力テストの分析結果を共有し、全国平均や県平均と比較して下回っている種目を向上させるための体づくり運動やトレーニング方法を検討し実施することで、地域が連携して児童生徒の体力向上を目指す。
- ②小・中学校間で、体育・保健体育指導の在り方や中学校の専門性を生かした指導法や資料について情報交換・協議し、指導法の改善・向上を図る。
- ③食生活や生活リズムの重要性を理解させ、また、家庭への啓発や連携を大切にし、運動分野だけでなく広い視野に立った身体の育成を図る。

実施内容

1 保幼小中連携の充実

町一貫性教育研究会体育部会（保8所 幼1園 小5校 中2校）という綾川町独自のシステムで、各校や園等の体力データ分析、体づくり運動・授業の工夫、作成した資料等について情報交換を年間3回実施する。部会での情報交換にもとづき、各校の児童生徒の実態に応じて意欲化を図り、自発的な取組を促す授業実践の工夫を行う。

2 運動環境の充実

(1) 綾川町所有の運動施設の活用

- ・綾川町総合運動公園（体育館、全天候型ノンチップトラック、テニス場、サッカー場）
- ・綾川町ふれあい運動公園（野球場、プール、多目的広場、体育館、テニス場）
- ・綾川町民武道館（剣道場、柔道場）

(2) 教材・教具の開発

- ①授業で活用する学習カードや教材資料を小・中学校で検討・開発するとともに、効果的な活用ポイントや進め方を研究する。
- ②長さや幅が自分で調節できる自作のオリジナルラダーやパイプストレッチなどの教具を開発し、小・中学校で情報交換して共有する。

(3) 地域人材の活用と指導者の資質向上

- ①専門的知識・技能を有する地域の指導者を活用する。
- ②指導者が健康・スポーツリーダー研修会等に積極的に参加し、資質向上に努める。

3 食育の推進

- ①給食を全校一斉にランチルームで行い、「残菜ゼロ」を推進することで身体づくりに適切な栄養摂取が大切であることを理解させる。
- ②全校生を対象とする生活調査を実施し、「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨するとともに、家庭との連携を図り、児童生徒の豊かな心と健康な体づくりを目指す。

実施上で工夫したこと

- ①各発達段階における体力や指導内容の違いを理解し、研究・実践を行った。
- ②新体力テストの数値の分析だけでなく、保健安全面や生徒指導面等幅広い分野で研究協議や情報交換を積極的に行った。

主な成果

- ①ここ数年、中学校の新体力テストの結果が、多くの種目において全国平均を上回った。
- ②部活動での成績が向上し、大会における上位入賞が増えた。また、陸上部でない生徒も陸上記録会などで好成績をあげてきた。
- ③町一貫性教育研究会の運営や専門施設の有効活用等が定着するとともに、新たに地域指導者の積極的活用と指導者の資質向上をねらいとした研修会が行われるようになった。



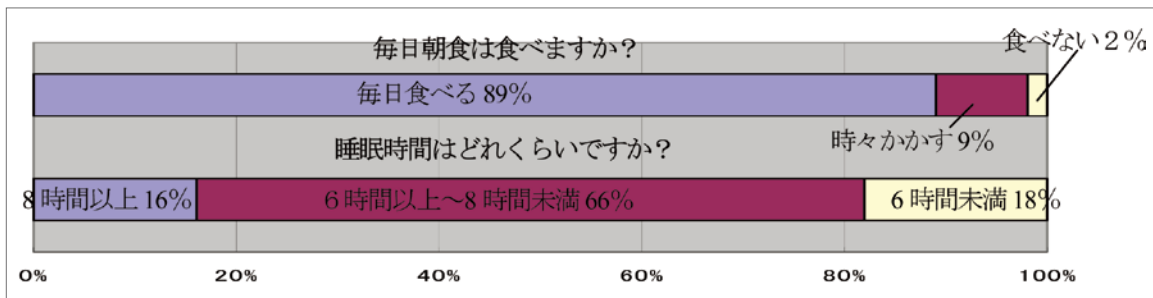
綾川町総合運動公園

陸上トラックをはじめとする充実した設備



綾川町ふれあい運動公園

野球場や体育館など様々な設備



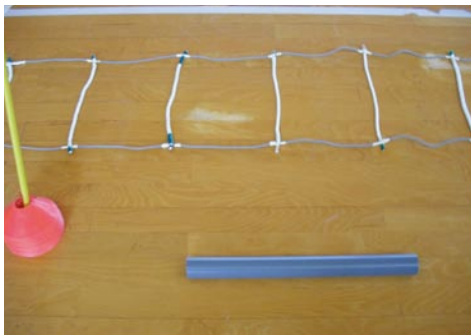
全校生を対象とする生活調査(平成21年4月)

家庭や地域の協力により、朝食を食べる生徒や睡眠時間6時間以上の生徒がとても多い



全天候型ノンチップトラック

各小中学校がいつでも自由に使用



教材・教具活用法の研究①

パイプストレッチなどを町一貫性教育研究会で紹介



教材・教具活用法の研究②

授業でのラダートレーニング(設定自由)